

平成28年度第1回鹿児島市地域情報化推進委員会概要

- 1 開催日時
平成28年6月28日（火） 14:00～15:00
- 2 開催場所
鹿児島市役所東別館9階特別中会議室
- 3 出席者
(1) 委員10人
(2) 事務局6人（総務部長、情報システム課長、情報システム課4人）
- 4 会次第
(1) 第三次鹿児島市地域情報化計画の進捗状況について
(2) 鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について
(3) その他
- 5 議事の概要

発 言 者	議 事 内 容
	(1) 第三次鹿児島市地域情報化計画の進捗状況について
事務局	事務局から資料の説明
委員	<p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光バス、観光電車の公衆無線LANの整備は非常に良いと思うが、全部のバス、市電ではない。コストがかかるのはわかるのだが、全部というのは、無理なのだろうか。観光客のためにというのは、もちろん必要な視点だが、観光客がとても素敵な所だなど思うような所は、住んでいる人も素敵な所だと思うような所なので、住んでいる人が便利だなど思うことも検討をしていただきたい。ただ、Wifiを整備するということとSIMをデータ通信だけが使える形にして貸し出すというのとあり、一概にどちらが良いと言えないところもあるので、Wifiをやらないとだめという意見を言うつもりはないが、スマホや携帯電話を観光客も含めて市民が外に出たときも使えるという環境は是非考えていただきたい。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係部署に伝えておく。 ● 何年か前にバスの到着時間等を表示するという話があったが、複数のバス会社で協議した結果、難しいといった回答であったような記憶があるが、市の交通局だけで行うのは難しいことなのか。博多のバス停では、行き先別のバスの到着状況が掲示されていた。また、バスの中では、次のバス停が日本語と英語と韓国語、三つの言葉で表示されていた。バスに乗った時次のバス停の情報が掲示されたら非常に良いと思うので、検討していただきたい。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通局に伝えておく。 ● 韓国のソウルに行った時に地元の学生に案内してもらったが、アプリで私達が乗ろうとしているバスが今GPSでどこにいるかを把握して教えてくれた。そういうことができている所もあるので、どうせ便利にするのなら一番最新のものを導入することを検討していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● GPSの導入では、コストの問題が出るが全運転手にスマホを持たせれば済む話である。安いスマホもあるので、是非検討していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● オープンデータ推進事業は、市民からの要望を受けてのものなのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 国の方で地方公共団体を含めた公共機関が持っているデータを企業の方などが利活用しやすいようなデータ形式にして公開していこうとしているものである。こうすることで企業の方々がそのデータを活用して、例えば市民の方に便利なスマートフォン向けのアプリケーションを開発するとか、そういうサービスなり新しい事業が出てくることを期待して取り組んでいこうとしているものである。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 公開できるデータは、どういうものか。 ● 航空写真や各公共施設の位置情報等をデータ化して公開しようとしている。ただ、航空写真については、ホームページに載せるにはデータ量が大きいので、ホームページに載せるのではなくて、要望があれば別の形で提供することも考えている。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 国の推進していることと大体一致しているのか。 ● 国がガイドライン等を示しているので、そういったものに沿って進めているところである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● オープンデータは、中々利活用まで進まないという現状がある。地域に特化したようなオープンデータが利活用しやすいかなと思う。鹿児島だったら観光や歴史、農業等の一次産業や火山情報、そういうのにある程度最初は集約して特化していくとすごく活用されるのではないかなと思う。一番大事なのは災害、防災に関するデータ、ここもオープンデータとして価値がある。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規でHEMSに補助金を出すということが書かれている。これは非常に良いことだと思うが、地域情報化の施策として挙げた理由は何か。 ● 従来の省エネ化、太陽光発電の設備を設置するだけではなくて、そこにホームエネルギーマネジメントシステムというICTの仕組みを導入して、そこで電気のコントロール、管理が見える化するような仕組みを導入しようとするものである。そうすることで省エネ化がより効率的に進められるというもので、こういう取り組みもICTを活用して低炭素化とかそういう分野に貢献してくるようなものだと考え、こちらに計上しているものである。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 親子のつどいの広場へのICTコーナーの設置というのは、資料を見ると何も動いている状況がない。これはどういう状況なのか。 ● 親子のつどいの広場へのICTコーナーの設置については、親子の支援の施設、例えば「なかまっち」や「たにっこりん」といった施設整備を順次し、その中でインターネットも使えるようなICTコーナーというのを順次整備している状況である。そういうことがここに数値化的に示せていない状況だが、随時施設ごとに整備を進めている状況である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● そういったコーナーの設置はされているわけですね。最初この指標を作る際に、目標値を立てて評価しようという話だった。先に目標を立てられないのであれば、結果でも良いので数値を入れていった方が実際進んでいることが明確になると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 原課に確認し、記載したい。
	(2) 鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について
事務局	事務局から資料の説明
委員	<p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 先に話の出たWifiを市がどこまで提供すべきかどうかという項目があると良いような気がする。市の施設又は交通機関も含めて市民がどれだけ欲しているのか。

委員	● 家庭での情報通信機器の保有状況という質問があるが、子供の情報端末の使用について、親がどう思っているのか。
事務局	● 教育委員会においても子供のスマートフォンの利用状況などの調査をしているようである。
委員	● 教育委員会だと持たせていないという答えが一番出そうな気がする。聞いてみるのもいいかもしれない。検討してもらえるか。
事務局	● 検討する。